



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 渡邊 太門
問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 木村 香代子 TEL 03-5342-1142
四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 2023年6月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	11,340	13.7	684	108.6	607	86.1	415	87.4
2022年6月期第3四半期	9,974	12.8	328	△55.0	326	△57.8	221	△59.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	79.19	—
2022年6月期第3四半期	42.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	17,665	7,938	44.9
2022年6月期	17,221	8,030	46.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 7,938百万円 2022年6月期 8,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	20.00	20.00	20.00	60.00	120.00
2023年6月期	20.00	20.00	20.00		
2023年6月期（予想）				60.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2022年6月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 20円00銭

※ 2023年6月期（予想）につきましては、合計で120円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしております。第4四半期の支払額については60円00銭を予定しておりますが、修正の必要が生じた場合には、速やかにご報告させていただきます。

3. 2023年6月期の業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	8.5	2,100	6.2	2,070	6.3	1,450	6.7	278.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年6月期3 Q	5,500,000株	2022年6月期	5,500,000株
2023年6月期3 Q	278,712株	2022年6月期	246,612株
2023年6月期3 Q	5,244,277株	2022年6月期3 Q	5,262,194株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）2020年ESOP信託、2022年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(持分法損益等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、21世紀の日本を代表する『知識集約型企業』をありたい姿としており、社会とともに目指す未来像・方向性として、ソート (Thought) 「Innovating for a Wise Future」を掲げております。このソートには、「工学知」をベースにした有益な技術を社会に普及させることにより、顧客、大学研究機関、海外パートナーなどの各ステークホルダーの皆様と共に、より賢慮にみちた未来社会を創出していきたいという思いを込めております。この実現に向けて、Professional Design & Engineering Firmの組織形態の場を整え、工学知に裏付けられた高付加価値なサービスを提供し続けることを目指して、経営を推進しております。

当事業年度においては、成長の源泉である人材への投資拡大と積極的な営業投資により、エンジニアリングコンサルティングとプロダクツサービスの両セグメントで売上及び利益の拡大を追求し、当社の重要な経営指標である総付加価値（総人件費＋営業利益）の7.9%と（過去10年の実績平均成長率5.9%に比して）高い成長を計画しております。当第3四半期まではこの計画に沿って、受注高も売上高も着実に積み上げることができたことで、費用の増加を吸収し、利益も堅調に推移しております。

当第3四半期累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減率 (%)
受注高	10,843	12,323	+13.6
売上高	9,974	11,340	+13.7
売上総利益	4,577	5,285	+15.5
営業利益	328	684	+108.6
経常利益	326	607	+86.1
税引前四半期純利益	278	582	+109.4
四半期純利益	221	415	+87.4

当第3四半期累計期間においては、前事業年度から繰り越された豊富な受注残高に加え、エンジニアリングコンサルティングの着実な進捗、及びプロダクツサービスにおけるクラウドサービスの計画通りの成長に支えられ、売上高は前年同四半期累計期間を上回る結果となりました。

受注残高に関しては、前年同四半期末を上回る78億54百万円（前年同四半期末は71億29百万円）を確保しており、当事業年度末に向けた事業活動は堅調に推移しております。

当社では多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて成果品の引き渡しが集中することから、上期では利益を伴わない原価回収基準の売上割合が高く、利益を伴う完成基準の売上は下期に集中する傾向にあります。そうした状況を踏まえ、第4四半期会計期間においては、期初に公表した通期業績予想の達成に向けて、引き続き高い品質への意識の下、着実に案件を完遂するとともに、次年度に向けた受注残高確保のための営業活動、及び将来に向けた投資活動にも注力してまいります。

当第3四半期累計期間のセグメント別の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	エンジニアリングコンサルティング			プロダクツサービス		
	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減率 (%)	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減率 (%)
受注高	7,328	8,029	+9.6	3,515	4,294	+22.1
売上高	6,639	7,165	+7.9	3,335	4,174	+25.2
売上総利益	3,254	3,712	+14.1	1,322	1,573	+18.9
売上総利益率 (%)	49.0	51.8	—	39.7	37.7	—
受注残高	5,726	6,075	+6.1	1,403	1,779	+26.8

(エンジニアリングコンサルティング)

当第3四半期累計期間においては、前事業年度末から繰り越された案件及び今期獲得した受注案件を着実に遂行したことで、前年同四半期累計期間を上回る売上、利益となりました。前年同期を上回る受注残高を確保できているため、引き続き徹底した品質管理による案件の確実な完了により、通期業績予想の達成に向けて邁進してまいります。

(プロダクツサービス)

当第3四半期累計期間においては、クラウドサービス提供型ビジネスである、クラウドベースメール配信サービス (Twilio SendGrid)、クラウド型入退室管理プラットフォーム (RemoteLOCK)、屋内デジタル化プラットフォーム (NavVis) が引き続き順調に推移し、売上が拡大しております。事業拡大に向けた人才の増強やプラットフォームの追加開発等の積極的な投資も継続しており、利益率は若干減少しておりますが、その他の指標においては20%以上の成長率となっており、全社の業績拡大を牽引しております。

当社では、サステナブルな成長を実現していく上で、人才こそがその源泉であり、より優れた人才の参画を促し育成していくことが必要と考えております。この方針の下、利益の追求に加えて、成長の源泉である人才への還元も鑑み、営業利益に人件費及び福利厚生費 (FRINGE BENEFIT) を加えた、「総付加価値」を経営指標として重視しております。当事業年度においては、人才の獲得や定着に向けて、若手層への待遇改善として、初任給の引き上げを実施しました。また若手層のみでなく、所員全員に対してもインフレの影響を考慮した実質ベースでの総年収の増加を踏まえた計画を策定し、所員一丸となって計画達成に向けて活動しております。このような取組みにより、2023年4月に新卒採用43名、当期2022年7月から2023年3月までにキャリア採用10名の優秀な人才が新たに参画いたしました。

また様々な事由 (育児、介護、配偶者の転勤等) により、働く場所や時間等の制約なく自由な働き方を選択したい所員のために、株式会社KKEスマイルサポートを設立し、金銭的な待遇だけでなく、所員一人ひとりが自らの能力を発揮し、自己実現できる場の創出に取り組んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.4%増加し、70億59百万円となりました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が7億35百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.4%増加し、106億5百万円となりました。これは主に投資有価証券が1億22百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて2.6%増加し、176億65百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2.2%増加し、55億56百万円となりました。これは、短期借入金が10億円、賞与引当金が10億86百万円増加する一方、未払費用が11億44百万円、その他に含まれる未払法人税等が5億58百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて11.0%増加し、41億70百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億93百万円、退職給付引当金が1億20百万円増加する一方、社債が50百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて5.8%増加し、97億26百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.1%減少し、79億38百万円となりました。これは、主に配当の支払いや四半期純利益等の要因によって利益剰余金が1億22百万円減少する一方、従業員持株会支援信託ESOPによる払い出しや自己株式取得による増加等による変動で自己株式(控除項目)が1億46百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月9日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,560,311	1,640,162
受取手形、売掛金及び契約資産	2,689,858	3,425,492
半製品	185,448	234,011
仕掛品	22,456	73,739
前渡金	537,234	514,760
前払費用	665,976	741,258
その他	140,274	430,294
貸倒引当金	△42,123	△144
流動資産合計	6,759,436	7,059,572
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,188,504	2,120,323
土地	3,204,301	3,204,301
その他（純額）	145,627	135,769
有形固定資産合計	5,538,434	5,460,394
無形固定資産		
ソフトウェア	349,039	361,173
その他	12,133	12,088
無形固定資産合計	361,173	373,262
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,514	2,219,776
その他	2,468,969	2,597,535
貸倒引当金	△3,757	△45,149
投資その他の資産合計	4,562,726	4,772,162
固定資産合計	10,462,334	10,605,819
資産合計	17,221,770	17,665,392
負債の部		
流動負債		
買掛金	488,557	372,767
短期借入金	-	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	796,552	552,500
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	683,594	514,123
未払費用	1,434,344	290,216
前受金	1,056,905	1,318,493
賞与引当金	-	1,086,519
役員賞与引当金	-	47,105
受注損失引当金	-	690
その他	874,911	274,180
流動負債合計	5,434,865	5,556,597

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,165,000	1,458,230
社債	50,000	-
株式報酬引当金	170,892	223,279
退職給付引当金	2,252,064	2,372,354
役員退職慰労引当金	20,540	20,540
資産除去債務	94,273	94,653
その他	3,762	1,165
固定負債合計	3,756,532	4,170,222
負債合計	9,191,397	9,726,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,325,209	1,350,853
利益剰余金	6,154,516	6,032,496
自己株式	△623,899	△770,009
株主資本合計	7,866,026	7,623,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	164,346	315,031
評価・換算差額等合計	164,346	315,031
純資産合計	8,030,373	7,938,572
負債純資産合計	17,221,770	17,665,392

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	9,974,487	11,340,318
売上原価	5,397,344	6,054,945
売上総利益	4,577,143	5,285,373
販売費及び一般管理費	4,249,033	4,601,021
営業利益	328,110	684,351
営業外収益		
受取利息	5	550
有価証券利息	14,508	2,123
受取配当金	1,621	1,715
投資有価証券運用益	20,607	-
未払配当金除斥益	3,152	2,661
その他	2,663	4,665
営業外収益合計	42,559	11,716
営業外費用		
支払利息	12,710	11,353
社債利息	837	469
投資有価証券運用損	-	66,636
その他	30,351	9,648
営業外費用合計	43,899	88,108
経常利益	326,769	607,959
特別損失		
固定資産除却損	40,015	-
固定資産売却損	8,730	-
投資有価証券評価損	-	25,805
特別損失合計	48,746	25,805
税引前四半期純利益	278,023	582,154
法人税、住民税及び事業税	316,532	166,822
法人税等調整額	△260,121	23
法人税等合計	56,411	166,845
四半期純利益	221,611	415,309

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	1,456,884	1,016,260	2,473,145	-	2,473,145
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	5,182,432	2,318,910	7,501,342	-	7,501,342
顧客との契約から生じ る収益	6,639,317	3,335,170	9,974,487	-	9,974,487
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	6,639,317	3,335,170	9,974,487	-	9,974,487
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,639,317	3,335,170	9,974,487	-	9,974,487
セグメント利益	1,833,152	507,729	2,340,881	△2,012,770	328,110

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,012,770千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	1,136,750	1,150,962	2,287,712	-	2,287,712
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	6,029,110	3,023,495	9,052,606	-	9,052,606
顧客との契約から生じ る収益	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
セグメント利益	2,142,237	691,227	2,833,465	△2,149,113	684,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,149,113千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	759,311千円	759,311千円
持分法を適用した場合の投資の金額	536,261千円	236,430千円
	前第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△37,462千円	△299,830千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,501,708	102.1
プロダクツサービス	2,603,829	128.7
合計	6,105,538	112.0

(注) 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	8,029,171	109.6	6,075,368	106.1
プロダクツサービス	4,294,084	122.1	1,779,513	126.8
合計	12,323,256	113.6	7,854,881	110.2

(注) 金額は販売価額によっております。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	7,165,861	107.9
プロダクツサービス	4,174,457	125.2
合計	11,340,318	113.7